

東北マリンサイエンス拠点形成事業
「海洋生態系の調査研究」公開シンポジウム

東北の海は どうなったか？

<プログラム>

1. 開会挨拶：文部科学省
2. 基調講演：我々は何をすべきか～復興における森と海～
C. W. ニコル (Clive William Nicol：作家・環境保護活動家・探検家)
3. 東北の海はどうなったか
 - 3-1. 海の生き物は怎么样了か 一漁業再生への取り組みー
原 素之 (東北大学)
 - 3-2. 海の環境はどうなったか
永田 俊 (東京大学)
 - 3-3. ガレキはどうなったか
藤原義弘 (海洋研究開発機構)
4. パネルディスカッション
モデレーター：瀧澤美奈子 (科学ジャーナリスト)
パネリスト
碓川 豊 (岩手県大槌町長)
鈴木公義 (宮城県女川町会議員)
木島明博 (東北マリンサイエンス拠点形成事業代表・東北大学)
文部科学省
5. 閉会挨拶：田中 克 (東北マリンサイエンス拠点委員会主査
(財)国際高等研究所チーフリサーチフェロー)

日時：2013年11月15日(金) 13:30-17:00

場所：東海大学校友会館 (開場 13:00)
東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞ヶ関ビル 35 階

定員：180 名 事前に WEB サイトより 参加お申し込みください。 **入場無料**

主催：東北マリンサイエンス拠点形成事業
東北大学・東京大学・海洋研究開発機構
文部科学省

後援：復興庁

URL : <http://www.i-teams.jp/symposium2013>



東北マリンサイエンス拠点形成事業
—海洋生態系の調査研究—



問い合わせ先：独立行政法人海洋研究開発機構 電話：046-867-9603
メール：teams-info@jamstec.go.jp

交通のご案内
・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番・11番出口より徒歩3分
・地下鉄日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」A13出口より徒歩5分
・地下鉄丸の内線「霞ヶ関駅」A4出口より徒歩8分
・地下鉄南北線「溜池山王駅」8番出口より徒歩5分
・地下鉄有楽町線「桜田門駅」2番出口より徒歩6分
P 霞ヶ関ビル地下駐車場 (収容台数 150 台 / 30 分 300 円)

